

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2016/02/22 19:30~21:00
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ) 平田 (ま) 米倉
--------------------	------	-------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	3人	人	人

前回の改善計画	初期支援に繋がる関わりを行なっていくために、地域の方と事業所の接点を記録する用紙を準備し、それをもとに、診療所看護師や見守り支援員との情報共有の場を設ける。 特に要支援、要介護者を中心に、週に2回以上の接点を持つようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	● 勤務時間内で継続的に見守り支援員、看護師とのミーティングが実施され、変化のあった高齢者に対しては、接点を持つようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	6	1		8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	3	4		8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	3	3	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の中で孤立しがちな (あんまり人の中に来られない) 方に対して、積極的に訪問し、接点を持つようにしている。</li> <li>● 毎朝の申し送り (ミーティング) で、ご利用者の状況を把握できている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタッフ全員への申し送りができていない。</li> <li>● ミーティング等で話は聞けるが、看護師、見守り支援員との接点が少ないスタッフがいる。(見守り支援員や看護師に任せておけばいいという思いがある)</li> <li>● 長期で休みを取ることがあり、短時間勤務のため、勤務自体が少ない。</li> <li>● 見守り支援会議への参加機会が少ない。</li> <li>● 健康体操など、勤務ではない日は参加していない。(勤務以外での参加は必要ないと考えている)</li> <li>● 家族との接点が少なく、深い悩みやニーズを話してもらえない関係ではない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人さんのニーズや情報は、常勤が本人・家族とよく話し、パートに伝えるのが良いと思う。</li> <li>● 毎月のミーティングの中で地域の方の事を話しあう時間を設ける。</li> <li>● 毎週月曜日の見守り支援会議に加え、毎月第2週月曜日の見守り支援会議には常勤全員出席する</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2016/02/22 19:30~21:00

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ)  
平田 (ま) 米倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	3人	2人	1人	8人

前回の改善計画	スタッフ全体でのライフサポートプランの見直しを通して、本人さんの思いなどを共有していく。モニタリングは、3ヶ月に一度、もしくは変化があった際に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	● ライフサポートプランを意識した関わり行っているが、スタッフ全員が直接本人と目標について話したわけではなく、共有する意識がチームとしての関わりは十分ではない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	5			8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	2		8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	3		8
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ライフサポートプランを意識して関わり、ご利用者の想いや気持ちに気を配り、大切にしている。</li> <li>● 本人の希望される旅行や里帰りがプランに活かされている。</li> <li>● 体力維持や食事療法については実施できている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人の意思を直接聞く機会がなく、「〇〇したい」への積極的な理解ができていない。「〇〇したい」の変化に戸惑ってしまうことがある。</li> <li>● 即時的なモニタリングは行えるが、記録を基にしたアセスメントした上でのモニタリングができていない。これまでは、材料となる記録が少なかった。</li> <li>● 島外への外出などは責任が持てないという思いがある。</li> <li>● 他のスタッフのこれまでの関わりを知らず、本人の消極的な反応を恐れ、活動の提案ができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ライフサポートプランの目標を本人さんも一緒に再度確認し、日々の目標を決めていく</li> <li>● 目標達成度を数値化・見える化し、モチベーションの向上を図る</li> <li>● 毎朝の挨拶後に1日の予定や目標などをみんなで話し合う</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2016/02/22 19:30～21:00
------------------	-----	------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ) 平田 (ま) 米倉
------------	------	-------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	3人	1人	8人

前回の改善計画	センター方式やマインドマップ等のツールを利用し、これまでの(自宅での)暮らしを振り返る。これまでの暮らしの視点の中から出てきた要望や必要なことを共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申し送りやミーティングで利用者の状況の変化を共有できている。</li> <li>● 以前の暮らしの話題になると掘り下げる努力をしている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	2	2	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	6			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	4		8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	7			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以前の暮らしはよく話を聞くようにしている。(掘り下げる努力)</li> <li>● ミーティングの際には、本人の声を代弁できるとように心がけている。</li> <li>● 本人を尊重した支援を行い、年に数回は自宅の自分の居場所でくつろげている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分でできる範囲で関わるが、声にならない声に気付いているかわからなため、本人の意向を家族に伝えきれていない。</li> <li>● 家族との接点が少なく、以前の暮らし方を把握できておらず、知らないことが多い。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの暮らしや日常生活をより深く知るために年表作りをする(本人さん、ご家族と一緒に)年表をすごろくにしてみてはどうか? 「〇〇さんの人生ゲーム」</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2016/02/22 19:30~21:00
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ) 平田 (ま) 米倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	2人	8人

前回の改善計画	利用者地域との関係図をマインドマップで作成し、昔や今の地域との関係性を知る。
前回の改善計画に対する取組み結果	● 関係図作りは行えておらず、関係や地域資源を把握できてない。それぞれのスタッフのこれまでの関係性は強みであり、「見える化」して、再確認した方が良い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	2	1	8
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5		1	8
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	2	1	8
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	5	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の行事に、積極的に参加され、存在感を表している。昔のことを聞き、今の時代を楽しまれている。</li> <li>● ご家族と過ごす事を目的とした、自宅訪問を行えている。</li> <li>● 直接関わらない場面でも、申し送りやミーティングで、日々の様子が把握できる。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表面的な部分しか見えず、ご利用者の気持ちが動く声かけができていない。</li> <li>● 訪問時以外の暮らしぶりを全て把握していない。</li> <li>● 地域との関係性が不十分のため、地域資源を把握しきれていない。</li> <li>● 企画したい時の相談先、段取りの方法が理解できていないため、ご利用者任せになっている。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタッフも交え、地域の方と少人数での話し合いの場を設け、ざっくばらんに今の事やこれからの事を話せる機会を作る</li> <li>● 関係図作りをする</li> <li>● 研修の機会を作り、私のアルバム作りをする</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2016/02/22 19:30～21:00
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ) 平田 (ま) 米倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	1人	7人

前回の改善計画	ライフサポート記録の地域の欄に利用者さんと地域の方との関わりを記録し、共有する。関わりの中で、前向きな変化、良い変化に着目して記録をする。 自宅で過ごす時間が増えるようにご家族や地域の方にアプローチしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族や地域への働きかけを行う前に、本人とスタッフだけで決めて、実施していることがあり、懸け橋としては不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	4	1	8
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		4	3	1	8
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	5		1	8
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	6			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変化について、朝礼で共有し、その日の個々のニーズに合わせて支援ができています。</li> <li>● 地域の行事に参加し、地域の皆さんと関わられるように働きかける努力をしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域を巻き込む働きかけができておらず、日常的な交流が限られている。</li> <li>● ご家族と行ったほうが良い場面でも、懸け橋にならずに、自分で行ってしまっている。</li> <li>● スタッフとしての「見守り」と地域から見た「放置」の違いなど、地域の中での反応を恐れている。</li> <li>● 事業所のあり方（通所を主軸）としたケアへの理解が浸透していない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域を巻き込むための、積極的な企画をもっとしたい。</li> <li>● 事業所スタッフだけでその方を支えるのではなく、地域の行事などではご家族・地域の方にも積極的にお手伝いをお願いし、家族・地域一丸となってその方を支えられるようにしていく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2016/02/22 19:30~21:00

6. 連携・協働

メンバー 國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ)  
平田 (ま) 米倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画	地域の高齢者の現状や変化を把握するために、診療所看護師、見守り支援員との2か月に1回の会議の継続事業所だけでは解決できないことは、運営推進会議での相談も考慮していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	● 見守り支援員、看護師とのミーティングは週1の頻度で行い、事業所内だけで解決できないことに関しては、運営推進会議等でも相談していた上で、決定している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	4		7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	3		8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	6	1		8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	3	3		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●	見守り支援活動（サロン活動・体操教室）の際などは、積極的に連携を取れるよう心がけ、地域の高齢者の現状を把握、共有しやすくなった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●	勤務時間外の場合は、見守り支援活動（サロン活動・体操教室）に参加していない。
●	地域に事業所のことを十分に理解してもらえておらず、地域からのニーズを把握できていないため、特定の方しか来所されていない。
●	運営推進会議が活かしきれていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●	会議の場で意見を出しやすい、出やすい場の作り方の工夫が必要。グループワークなど
●	これまでの見守り支援会議に加え、常勤が全員参加しての見守り支援会議も行っていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2016/02/22 19:30～21:00

7. 運営

メンバー 國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ)  
平田 (ま) 米倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	人	8人

前回の改善計画	日常の中で得られた地域からの声を共有する場を設ける。→ 朝の申し送り時 運営推進会議だけでなく、地域から意見をもらいやすい関係づくり
前回の改善計画に対する取組み結果	● 一部ではあるが、こちらから投げかけると、地域からの要望を聞ける関係が出来てきていて、朝礼等 を活用して、共有出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	2		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3	3		8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3	3		8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	4	2		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域行事への参加を通して、地域の方との関係作りを積極的に行っている。</li> <li>● 申し送り等を活用し、地域からの声を共有している。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 声が聞こえる機会は増えているが、広く意見を聞けるわけではなく、まだ一部の人の声であるように感じる。</li> <li>● 今年度は、参加していただきたいイベントが多く運営推進会議の実施が少なかった。</li> <li>● スタッフ自身が、事業所の話や家族や地域の方とする機会が少なく、外からの意見も少ない。また、地域との意見の食い違いに、反論しづらい。</li> <li>● 個人で重要度を判断してしまい、地域の困りごとの把握ができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「4. 地域での暮らしの支援」で示した少人数での話し合いを高齢者の方から始めて、島民全員と実施。求められている事や現状を知り、運営に活かしていく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2016/02/22 19:30～21:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ)  
平田 (ま) 米倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	人	5人	2人	8人

前回の改善計画	職場外での研修に積極的に参加し、職場に還元する(外部での研修参加後、職場で研修内容を共有する)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部の研修に参加したスタッフは報告を行い、職場内研修に活かしているが、職場外研修に参加する機会が少ない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	4	3		8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	3	3	8
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	3	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか			5	2	7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 継続的に職場内での研修が行えている。参加している。</li> <li>● 他のスタッフが学んできたことは、自分でも身につけようと思っている。</li> <li>● 資格取得に向けて取り組んでいるスタッフもいる。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人の考え(研修が好きではない。向上心が足りない。)で、職場内外の研修の参加に消極的である。</li> <li>● 家族の事情で外部の研修には参加しづらい。</li> <li>● 島外の連絡会に参加する機会が作れていない。</li> <li>● リスクマネジメントについては、指摘を受けた後に行っていることが多く、前もって行えるとさらに良い。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自ら学びたいことを見つける。外部から講師(看護師・保健師 等)を招いての研修の実施。</li> <li>● 地域の方や法人内の職員、来島された方など外部の方の力もお借りし、研修内容の充実を図る。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2016/02/22 19:30~21:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 國部 中木原 川原 前田 中村 平田 (あ)  
平田 (ま) 米倉

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	4人	4人	人	人	8人

前回の改善計画	随時、本人の意思を確認しながら、必要なだけのケアを行う。 こちらから、情報(個人情報)を発信する事のないようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	● ご利用者の気持ちを尊重し、できることは本人にやっていただいている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	8				8
② 虐待は行われていない	8				8
③ プライバシーが守られている	6	2			8
④ 必要な方に成年後見制度を活用している		1	3	2	6
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	6	2			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●	人権とプライバシーを尊重しながら、本人が望む暮らしをスタッフ一丸となってサポートしている。
●	情報提供が必要な場合は、プライバシーを守りつつ必要な情報を提供している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●	的確な記録が残せておらず、「必要な分だけ」のケアの共有が曖昧なところがある。
●	関わりの中(ご利用者の電話使用の際)で、気配りを忘れてしまい、周囲に配慮が足りないと感じることがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●	たからの契約について全員が知っておく必要あり。勉強会の実施。
●	成年後見人制度について知る。勉強会の実施。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	9		3
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	9		3
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	5		7
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	1	5

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	7
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	10		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8		4
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	11	1	
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	8		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・窓は開け、庭で過ごす時間を増やす。
- ・事業所とコミセンに催しを、朝礼後、利用者さんと掲示する。
- ・事業所にも掲示板を設置する。
- ・不在時には施錠。
- ・樹木については、来年度に向けて検討する。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9		3
1	職員はあいさつできていますか？	12		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	12		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		7
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	12		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・高齢者の催しに、事業所として参加。
- ・地域の高齢者のつながりを見える化し、訪問・声掛けの中で、関係性を切らないように関わる。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		9
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6	6	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	10	2	
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	12		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	9		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・気になる高齢者の情報（本人、ご家族の声等）を記録し、包括と見守り支援員と情報を共有し、共に考え、行動していく。
- ・月日と関わった場所等を記録し、高齢者の孤立を防ぎつつ、その方の変化、生活のリズム等の情報を共有する。
- ・一人ひとりのニーズに応えるために、企画を一緒に考え実施する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		8
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	1	6
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	1	7
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	1	5
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	1	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

運営推進会議の準備について、より要点を絞ったレジュメを、一週間前には確実に配布する。建設的な会議の場にするために、年間を通しての年次計画にそった議題を提案した上で、その時必要な議案を話し合う場にする。

会議でのご利用者の状況、地域との関わり、運営推進会議で話し合われたことの報告の際に、写真等を使い、日頃の関わりの様子を情報発信する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		8
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	6	5
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	10		2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	10	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4	2	6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

スタッフ間でマニュアルを確認し、運営推進会議でマニュアルの周知し、意見をもらう。  
 高齢者向けの消火訓練の実施。（消防団に要相談）  
 地域の方（運営推進会議メンバー）に、防災訓練への参加を促す。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・事業所の特徴	その人らしく、住み慣れた地域で暮らし続けることを目指している法人である。小規模多機能ホームだから、宝島唯一の事業所であり、小さなコミュニティということもあり、地域との関わりなしでは、事業所は成り立たない。地域の方からのご意見を頂く機会が多い。
事業所名	小規模多機能ホームだから	管理者	米倉 優介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	3人	人	7人	人	1人	1人	人	8人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ一人ひとりが具体的な行動計画を持ち寄り、目標を達成するための計画を作成。</li> <li>・スタッフ個人、事業所の強みを活かす計画を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に面談等を行い、各スタッフの目標達成を支え合える環境を作っている。</li> <li>・強みを生かすための年間計画の行事を作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良いところを伸ばす視点は良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ一人ひとりが具体的な行動計画を持ち寄り、目標を達成するための計画を作成。</li> <li>・スタッフ個人、事業所の強みを活かす計画を作成する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓は開け、庭で過ごす時間を増やす。</li> <li>・事業所とコミセンに催しを、朝礼後、利用者さんと掲示する。</li> <li>・事業所にも掲示板を設置する。</li> <li>・不在時には施錠。</li> <li>・樹木については、来年度に向けて検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎやかな様子がわかり入りやすい。</li> <li>・オープンにする意識を感じる。</li> <li>・イベント前に放送で呼びかけがあるのが良い。</li> <li>・庭に花が無い、鉢が放置されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を徹底してほしい。事業所を通して、島民に習慣づけることができれば。</li> <li>・庭に、テーブルだけでなく椅子も置いて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板を設置する。</li> <li>・花やイスなどを用意し、過ごしやすい庭づくりを行う。</li> <li>・感染症の流行期には、来所者にも手洗い、うがいを呼びかける。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の催しに、事業所として参加。</li> <li>・地域の高齢者のつながりを見える化し、訪問・声掛けの中で、関係性を切らないように関わる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が集まっている場所（売店横）にスタッフが顔を出しているのが良い。</li> <li>・つながりの見える化はぜひしてほしい。</li> <li>・一部の職員しか参加していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や保育園と交流し、高齢者と子供のつながりを。（職場体験など）</li> <li>・十島全体を見てつながりを。</li> <li>・あまり集まりに出てこない高齢者が心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会の活動日程や事業計画を事前に知り、より密接にかかわっていく。</li> <li>・見守り支援活動に、スタッフ全員が交代で参加する。</li> <li>・高齢者と子供が交流する場作り</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる高齢者の情報（本人、ご家族の声等）を記録し、包括と見守り支援員と情報を共有し、共に考え、行動していく。</li> <li>・月日と関わった場所等を記録し、高齢者の孤立を防ぎつつ、その方の変化、生活のリズム等の情報を共有する。</li> <li>・一人ひとりのニーズに応えるために、企画を一緒に考え実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の行事に利用者が参加する機会が減っている。</li> <li>・地域の力を借りて支援できるように</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者以外でも送迎の必要性があるのでは</li> <li>・相談したいことがあっても、スタッフの誰に言ってもいいかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のつながりを見える化し、それをもとにした支援体制をつくる。</li> </ul>



<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設的な会議の場にするために、来年度より、年間を通しての年次計画にそった議題を提案した上で、その時必要な議案を話し合う場にする。</li> <li>・会議でのご利用者の状況、地域との関わり、運営推進会議で話し合われたことの報告の際に、写真等を使い、日頃の関わりの様子を情報発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を使った報告がわかりやすい。</li> <li>・グループワークの方が話しやすい。</li> <li>・レジュメを事前にもらっておくと、周囲の人からも意見をもらったうえで会議に参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討を運営推進会議とするのは良くないのではないか？自分のことが議題にあがるようなら会議に参加したくない。</li> <li>・島全体で高齢者を支えるという意識付けが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの議案も話し合える場にする。</li> <li>・改善計画の取り組み状況を定期的に報告する。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ間でマニュアルを確認し、運営推進会議でマニュアルの周知し、意見をもらう。</li> <li>・高齢者向けの消火訓練の実施。(消防団に要相談)</li> <li>・地域の方にも、防災訓練への参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団、見守り支援活動と共同で地域の高齢者向けの消火訓練を行えた。</li> <li>・状況に応じて、マニュアルの更新が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時には利用者の安全確保を第一に考えてほしい。</li> <li>・マニュアルの内容は知らなかった。</li> <li>・現場で素早く行動することが大事。マニュアル頼りにならず、指示系統を統一すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな場面を想定した訓練を行い、災害時に取るべき行動を確認する。</li> <li>・地域の高齢者の状況を消防団と共有する。</li> </ul>